

病態栄養治療学

M-03-10-L

オーガナイザー

病態栄養治療部

准教授 古田浩人

I 授業の目的

栄養状態を正しく評価し適切な栄養処方を行える能力を習得する。

II 到達目標

1. 各種栄養素の消化、吸収、代謝、機能を説明できる。
2. 食事摂取基準を説明できる。
3. 各種栄養法の適応、方法、合併症、長期投与時の注意事項を説明できる。
4. 栄養アセスメントを実施できる。
5. 栄養ケアのプランを作成できる。
6. 疾患別の栄養療法を説明できる。
7. N S T (Nutrition Support Team) の意義、役割、効果を説明できる。
8. 院内で処方できる各種治療食を理解し、病態に応じて選択できる。

III 講義日程表

No.	月日	曜日	時限	項目	担当
1	R6. 1. 16	(火)	2	病態栄養治療学 (総論)	古田
2	R6. 1. 16	(火)	3	病態栄養治療学 (各論)	石橋
3	R6. 1. 23	(火)	2	病院における栄養管理	望月
4	R6. 1. 23	(火)	3	病態栄養治療学 (NST/演習)	石橋・古田
5	R6. 1. 30	(月)	3	試験	古田

IV 推薦テキスト及び参考書

日本臨床栄養代謝学会 (JSPEN) テキストブック 日本臨床栄養代謝学会編集 南江堂 5,500 円

V 評価方法

試験の結果をもとに全学的な基準で成績を評価する。

